

アルヌルフ・フォン・アルニム客員教授特別講義

1. 日 時 : 2024年4月15日(月)11:15~18:30 16日(火)11:15~18:30

2. 場 所 : ミレニアムホール 学内 学外 聴講 可

3. 対象学生(必修) : ピアノ専攻 15日(月)3限:ピアノ指導法A、ピアノ教授法受講生 16日(火)2限:ピアノ演奏法A I 3限:ピアノ指導法A(指導者コース)受講生 4限:ピアノ即興演奏法受講生、ピアノ音楽研究 I 受講生、ピアノアンサンブル(大専)受講生 5限:ピアノアンサンブル(大学院)受講生
全ての時間:大学院生、大専、演特学生(但し授業がない時間のみ)

4. 講師紹介 : アルヌルフ・フォン・アルニム 氏 (Prof. Arnulf von Arnim)

本学客員教授

1947年ハンブルク生まれ。

フランクフルト音楽大学でヨアヒム・フォルクマン Joachim Volkmannとアウグスト・レオポルダー August Leopolderに師事。1970年、ドイツの奨学金でパリのピエール・サンカン Pierre Sancanに師事。1972年から1976年までシュトゥットガルト音楽大学でユルゲン・ウーデ Jurgen Uhde、ドーラ・メッツガー Dora Metzgerに師事。

またクラウディオ・アラウ Claudio Arrauとヴィルヘルム・ケンプ Wilhelm Kempffのマスタークラスを受講する。

ヴィオッティ国際コンクール第1位、マリア・カナルス国際コンクール第1位、ブゾーニ国際コンクール第3位、ジュネーブ国際ピアノコンクール入賞。

デトモルト音楽大学教授を退任後、ミュンヘン音楽大学特任教授を経て、現在、ミュンスター、フランクフルト各音楽大学で特任教授として後進の指導にあたる。門下生に、ミュンヘンコンクール第1位、第2位、ハエン国際コンクール最高位等、数々の国際コンクールで上位入賞者を輩出している。

国際シューベルトコンクール総監督、国際サマーアカデミーチェルヴォ主宰。ザルツブルグ国際夏期講習会講師を務めるかたわら、ヨーロッパをはじめ、アメリカ、アジアの主要なコンクールの審査員も数多く務める。

5. 講義概要 :

4月15日(月)

公開レッスン

2限 : 川崎愛梨(特研4) ブ람ス / 創作主題による変奏曲 op.21-1

光山大輝(演特4) ショパン / 舟歌 嬰へ長調 op.60

3限 : 鈴木こはる(演特4) ブ람ス / ピアノのための6つの小品 op.118

1、間奏曲 イ短調 2、間奏曲 イ長調 3、バラードト短調

川崎 麗美花(演特4) ラヴェル/「鏡」より3、洋上の小舟 4、道化師の朝の歌

4限 : 水田梁緒(演特2) バッハ / 半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903

三宅ひなた(演特2) シューベルト / ピアノソナタ第16番 イ短調 D.845 第1楽章

5限 : 奥野朱音(院2) シューマン / 幻想曲 op.17 第1楽章

巨島玖実(院2) ブ람ス / 8つの小品 op.76 I. Capriccio VI. Intermezzo

4月16日(火)

2限

: 公開講座『調性のカラーについて』

大作曲家は、作品を書くにあたってどのように調性を選択しているのでしょうか。実は、各調性には、それぞれ独自の意味が存在しています。西洋音楽の伝統を踏まえ、J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集およびショパンのプレリュード等を例に、演奏を交えてお話します。

公開レッスン

3限 : 藤田彩希(特研4) シューマン / 森の情景op.82より森の入口、予言の鳥、狩り、別れ

加藤舞香(院2) ベートーヴェン / ソナタ第7番 op.10-3 第1、2楽章

4限 : 片岡あい(演特3) ショパン/マズルカ第16番変イ長調op.24-3

C.ドビュッシー/映像 第1集「水の反映」

中島知優(演特3) ベートーヴェン / ピアノソナタ第30番 ホ長調 op.109 第1楽章、第2楽章

5限 : 山本茉奈(演特3)スクリャーピン / ピアノソナタ第9番 変ホ短調 op.68「黒ミサ」

加古 彩子(院2) シューマン / 謝肉祭 op.9(前半のみ)